

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4270202882		
法人名	有限会社 グリーンケア・はりお		
事業所名	グループホームかえで荘		
所在地	〒859-3451 長崎県佐世保市針尾東町 977-5		
自己評価作成日	平成24年1月24日	評価結果市町受理日	平成24年3月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4270202882&SCD=320&PCD=42
--------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目 6 番 5 号
訪問調査日	平成24年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

【1号館】入居者様と職員がともに家族だという認識が浸透できています。入居者様同士、助け合う姿がみられたり、料理の下ごしらえや洗濯物を畳んでくださるなど自分が持つ役割を果たしながら、昔、培った編み物や料理などの知識を職員に教えてくださる状況がうまれています。同じ状況で暮らす仲間として家庭的な雰囲気できいきと生活ができています。

【2号館】木のぬくもりを大切にした木造平屋になっております。室内も木を多く使っており、ゆったりと過ごせる空間になっています。江上湾をはさんでハウステンボスが望め、毎晩きれいな花火を見ることが出来ます。天気の良い日には近くの浦頭公園へ出掛け、外の空気にふれるようにしております。食材も自分たちで献立を考え、畑で採れた新鮮なものを使っています。入居者様が居心地の良い場所と感じていただけるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは、静かな国道沿いの緑に囲まれた高台に位置しており、近くには、浦頭公園や西海橋があります。居室の窓からハウステンボスの花火や季節の花々を楽しむことが出来るホームは、暖かい木の温もりが感じられる木造平屋で、2つのユニットに区分されています。行事等の際には、中央の壁を開放し大きなホールとして使えるよう工夫もされています。東西にあるユニットは温度差がある為、快適に過ごせるようにこまめに温度調節をされるなど、過ごし易い空間作りにも配慮されています。健康管理にも努められており、本年度は早期のインフルエンザ予防策により、一人も風邪に罹られていないとのことです。

職員間のコミュニケーションが良好で、職員の声によりギャッジベッドを取り入れるなど、迅速で柔軟な対応に努められています。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、理念を復唱することで実践できるように努力しています。	毎日の理念の唱和により、日々のケアの質を高めるよう意識付けされています。利用者于心穏やかに生活されるよう、利用者の意向にそった支援を目指されています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流はあまり行っていません。今後は、機会が増えるよう努力していきたいと思っています。	子供110番の役割を担い、幼稚園や小学校、自治会、老人会への行事案内を行われていますが、地域性や生活リズムの違いからあまり交流が出来ていない状況です。	地域の一員としてつながりを持つための助言を、自治会や老人会から頂くなど、日常的に交流が出来るような一歩踏み込んだ取り組みを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所からも地域に働きかけていきたいと思っています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では現状の取り組みを報告し、貴重な意見も頂けるので業務に反映できるようにしています。	2カ月に1回の会議に、各代表が10名程度参加され、積極的な意見交換が行われています。評価結果を踏まえた取り組み等が報告され、質の向上に取り組みられています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域との関わりは少ないので、今後は自分も取り組めるよう努力していきたいと思っています。	認定更新や身寄りのない利用者への対応などについての相談時に、連絡を密に取り協力関係を築くよう取り組まれています。	

6	<p>5 ○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>原則、身体拘束を行っていません。しかし危険が生じる場合のみ、やむを得ず行うこともあります。</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組まれています。安全面を考え拘束が必要な場合は、家族より同意書を得る仕組みとされています。施錠なども特に行われていません。</p>	
7	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>担当が研修に行き勉強会を開くことで、虐待のない施設であるよう取り組んでいます。</p>	/	/
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>本を読んだりして必要な知識が得られるように努力しています。</p>	/	/
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>必ず説明は行っています。ご家族が不安を持たれないよう十分行っていると思います。</p>	/	/
10	<p>6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会では現状報告を行い貴重な意見を頂き、今後の支援にいかせるよう努めています。</p>	<p>定期的に家族会を開き、意見や要望等も気軽に話せる環境作りに努められています。聴取した意見は、そのつど職員会議等で検討し、よりよい支援に反映されています。</p>	
11	<p>7 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日の朝礼、毎月のミーティングを行うことで情報を共有しています。</p>	<p>月1回の会議だけでなく、気付いた時に管理者へ提案や意見が言えるようにされています。気付きや意見が書けるノートを作成にも取り組まれています。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>スタッフそれぞれが良いところ・悪いところがあると思いますが、お互いが努力・協力してやりがいのある職場になるよう努めています。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修などに参加し、スキルアップできるように努めています。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他施設との勉強会を行い、そこで得た情報がよりよい支援に繋がるようにしています。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人様よりしっかりと話を聞き、心配のないよう何でも話していただけるように努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>不安なこと、心配なことは何でも話していただき、安心していただけるように努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>どのような支援を望まれているのかしっかりと受け止め、希望を持っていただけるように心掛けています。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	みんなが家族であるという思いで支援をしています。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等の参加をお願いして、利用者様・ご家族様・職員の三者の交流が出来るように努めています。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所へ出掛けることはかなり無理がある為、電話や手紙などによる情報の提供を行います。御家族様の安心に繋がっています。	今までの生活の延長線上であるように、自由に家族に電話をかけたがり、家族と外食を楽しむなど、一人ひとりの生活習慣を尊重し、支援されています。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じ趣味、同じ経験を持つもの同士が楽しく交流できるよう支援しています。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も何か心配な事があればいつでも相談して頂けるよう声掛けをしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の意向・要望を聞き、実現できるように努力しています。	表情や行動、家族から得られる情報などから、意向の把握が行われています。編物を職員に教えることで、生き甲斐を感じられている事例なども聞く事が出来ました。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>日常の会話で生活歴、今までの環境を聞き、どのような思いがあるか把握できるように努めています。</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者様それぞれにあった生活環境作りをしています。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様・ご家族様からの要望を聞き、ケアプランに反映できるようにしています。</p>	<p>利用者や家族の意向や要望を踏まえ、職員全員でアセスメントやモニタリングに取り組まれています。</p>
27	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録をもとにしてプランが実施できているか、また考慮しなければならない点はないか、意見を出し合っています。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>計画したケアプランを実施している途中であっても、プランにない最善の支援があれば取り入れるようにしています。</p>		
29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自社の果物・野菜を提供することにより季節を感じていただけるよう支援しています。</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的往診・体調不良時の受診により、体調管理に努めています。</p>	<p>本人や家族の希望に応じた受診支援が行われています。急変時は医師・看護師・職員が連携をとり、素早い対応が可能となるよう体制作りにも努められています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日状況報告をすることにより適切な指示を受け、対応しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院からの情報はしっかりと把握し、ご家族様にもこまめに報告しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りについてはご家族様との話し合いもしています。この施設で看取ってもらって良かったと言っているよう努めています。</p>	<p>入所時の早い段階から本人や家族に説明し、意向に沿って方針を決め、定期・随時に話し合いターミナルケアに取り組まれています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会を行い、緊急時の対応が出来るよう努めています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を行い、火災時の対応を理解し的確に対応できるようにしています。</p>	<p>夜間想定や心肺蘇生も含めた防災訓練が、年に5回ほど実施されています。全職員が利用者と共に訓練することで、より迅速な対応が出来るよう取り組まれています。</p>	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>敬意を持った話しかけを行うようにしています。しかし敬語を使わない普通の会話となることが多くあります。</p> <p>本人の意向を尊重し、要望に応じた呼び名や声かけ、対応などについての検討が行われています。スタッフ同士で合図を決めるなど、プライバシーを損ねない対応にも努められています。</p>
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<p>思い・希望が通らないと不満となることもあるので、傾聴などを通してどのような思いがあるか把握するようにしています。</p>
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<p>食事時間など決まっていますが、その他は利用者様のペースに合わせた生活をしていただけるように支援しています。</p>
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<p>体調管理のための衣服調整はしますが、利用者様の好む衣服を着ていただいています。</p>
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<p>食事は一番の楽しみでもあります。楽しく美味しく召し上がっていただけるようにしています。</p> <p>人間関係に配慮しながらテーブルの位置が決められています。それぞれの能力に合わせて、料理の準備や後片付けが行われ、食事も職員と一緒に摂られています。</p>
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<p>利用者様それぞれにあった食事量で提供し、水分もしっかり摂っていただけるよう支援し提供しています。</p>

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、声掛け・介助で口腔ケアを行い、清潔を保てるように努めています。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>時間をみてのこまめなトイレの声かけ・誘導を行い、清潔に過ごせるように支援しています。</p>	<p>排泄リズムに合わせてのトイレ誘導や、オムツやパットの時間帯に応じた選択など、排泄の自立に向けた支援に努められています。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便チェックを行い服薬による調整を行ったり、おやつにも食物繊維の豊富なものを使って作るようにしています。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>定期的曜日で入浴を楽しんでいただいています。状況により入浴日以外の対応もしています。</p>	<p>決まった曜日以外でも本人の要望や状態に応じて柔軟に対応されています。入浴を拒まれる場合は、言葉かけや対応を工夫し、安心して入浴頂けるよう取り組まれています。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>体調に合わせて休養していただいたり配慮しています。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ご本人様の名前を確認し、誤薬のないよう気をつけて行っています。</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりが役割を持つことで、生活にハリを持っていただけるよう支援しています。得意なことを楽しんでいただいています。</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近場の外出は出来ていますが、遠出はできません。外食の支援ではご家族様の協力も得られています。</p>	<p>歩行困難な利用者が多い中、家族の協力などを得ながら、本人の希望に応じた外出支援に努められていますが、十分とは言えない状況が見受けられます。</p>	<p>短時間外出や車椅子対応車の更なる活用など、戸外に出る機会を多く持たれることを推奨します。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金は所持されていません。ご本人様より希望があったとき、担当者が購入しています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>年賀状、暑中見舞いを出すことでご家族様と交流もできています。またご家族様の協力により電話もされています。</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>飾り物、花などを置いて季節感を感じていただけるようにしています。</p>	<p>共用空間には、貼絵や折り紙、ぬり絵など利用者の作品が飾られ、ソファやテーブルの配置など、心安らげる空間作りに努められています。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食席を考慮することにより共通の話題ができ、生活を楽めるよう支援しています。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様・ご家族様の意向で置いてある物があり、そのことにより安心した生活を送っていただいています。	居室内には、ベットとタンスが備えられています。本人や家族と相談し、馴染みのイスや写真、仏壇などが持ち込まれ、安らげる環境づくりに努められています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・浴室の表示で確認していただき、移動時の手すりの利用の声掛けを行い安全には気をつけています。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝復唱することで自覚し、確認しながら実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	子供110番を設置し、行事等の参加を呼びかけているが、地域の方との生活リズムの違いなどから密な交流は行えていない。今後も施設に入りやすいような雰囲気作りを行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域への呼びかけは、役員会の皆様を通して行っている。来られた際には、見学を進め始めの一步が踏み出しやすい対応を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に推進会議を行い、施設の状況や今後のことについて話を行う。そこで、役員や家族、市から意見を頂きサービスの向上へ繋げている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	関わる機会があったものの、携わろうとしていなかった。今後、担当の入居者の事から市と連絡を取り合い相談等行って行きたい。		

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修や施設内の勉強会を行い理解を深めている。しかし、危険が伴いやむ得ない場合は、家族と本人の了解を得て行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や勉強会を行っている。そうすることで、自分のケアを見直す機会が作られている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今まで利用している人がおらず関わる事が無かった。いつ利用される方がいても大丈夫なように研修の参加を行い理解を深めて行きたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を交わすときに同席し勉強中である。家族が不安をもたれないよう分かりやすく説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定期的に家族会を開き、要望や意見を頂く機会を設けている。面会に来られた際にも積極的に話をし、思いを聞くようにしている。そこで頂いた意見は職員間で話し合い支援に繋げている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティングや毎朝の申し送り意見や提案を行い、施設向上に取り組んでいる。それ以外でも、思ったときに話が出る雰囲気である。</p>		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員同士不足している部分をフォローしながら仕事がやりやすい環境に努めている。向上心を持って働けるよう環境・条件が整うとよりよくなると思う。要望等が話せるようになってきている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の勉強会や、外部の研修に積極的に参加し、スキルアップを目指している。また、資格取得が出来るよう協力している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他施設と勉強会を行い意見交換が出来ている。そこで得た情報を持ち帰り、より良い支援に繋げている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人様の状況を把握し、寄り添い傾聴し安心して生活が出来る関係を築くように努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族様の不安な思いを汲み取り、安心されるよう密に連絡を取り合っている。家族の要望を聞き施設で行えることは積極的に支援している。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前の情報を把握し、家族と本人様との思いを配慮して今必要とする支援を考えサービス内容を作成している。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることはしていただき、得意なことは教えて頂くという家族のようにお互い助け合う関係を築いている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や行事等の参加を呼びかけ、一緒に過ごす時間を大切にしている。また、電話や手紙のやり取りを行い関係を断ち切らないようにしている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切にしていた写真や仏壇などは持ってきていただき、安心して過ごせるようにしている。手紙や電話なども自由に掛けていただいている。来施しやすいよう門扉も開放している。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクや行事に参加することで入居者同士が関わりを持ち、助け合える環境作りを行っている。食事の席も入居者同士の関係を配慮しながら決めている。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も連絡を取り相談やアドバイスを行い不安が無いよう支援を行っている。入院退所の場合、お見舞いなども行っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に入居者に寄り添い、本人の意向に添った支援を行っている。困難な場合は家族と相談を行いながらプランを作成している。		

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>カルテの情報や、家族・本人の会話の中から生活歴や習慣などを把握し、支援に役立っている。</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人のペースを崩すことなく出来ることは積極的に行って頂いている。そのときの状況にあった支援を行い、記録に残すことで職員間での共有が出来ている。</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族や本人の意向を聞き、担当者会議を設けている。そこで、課題やケアについて検討し現状に合ったプラン作成を行っている。変更等があった場合は速やかに見直し支援行っている。</p>		
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日誌や記録・申し送りを用いて情報の共有をし、安心安全に繋げている。それをもとにケアプランの見直しに利用している。</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>計画したプランの途中でも、必要と感じたことは取り入れている。その際には、家族と本人に説明を行っている。</p>			
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自社で育てている野菜・果物を提供している。花の植え替えなどは、レクの時間を使い一緒に行っている。近所の公園にも外出している。</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医による定期的な往診と、緊急時の往診が出来る体制を作っている。主治医との連携を図り、適切な処置が受けられるよう支援をしている。家族や本人からの要望があれば、専門医での受診も可能である。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日電話やFAXにて、夜間や日中の情報を送り指示を得ている。また、常に連絡が取れるようになっており緊急時にも適切な対応が出来るようになってきている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者との情報交換や相談が出来やすい関係作りを行っている。家族とも今後のことについて話し合い相談に乗っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に終末期の対応の説明を行っている。施設が対応できる範囲を家族と本人に説明している。主治医と連携を図り、職員も対応できるように勉強している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成し、定期的に訓練を行っている。勉強会でも取り上げ都度再確認している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に防火訓練を実施している。消防署の方からも言葉を頂き、次に生かしている。毎日夜勤者が点検するようマニュアルを作成し安全に努めている。</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊敬する気持ちを忘れずに、一人ひとりにあった言葉掛けをしている。慣れが出てしまいすぎる部分もあり、気をつけている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意向や気持ちを聞き、選択できるような声掛けを行っている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まったスケジュールを作るのではなく、その日の体調や気分に合わせて利用者のペースですごせるようにしている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に美容室でカットしている。好みの服を選択出来るようにし、マニキュアや口紅をしおしゃれ出来るように支援している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	アレルギーや好き嫌いを把握し、おいしく食している。行事では、普段と違った料理を提供し、楽しんでもらっている。食材の下ごしらえや、後片付けなど役割を持ち本人のやりがいに繋がっている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量や飲水量を記録に取り、日々の状態把握を行っている。不足している人には、高カロリーゼリーや栄養補助食品で補っている。

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアを呼びかけ実施している。必要な人には、舌用のブラシを購入し、清潔を保っている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を作成し排泄パターンを把握している。早めの誘導が行えることにより、トイレでの排泄とパット数の削減が出来ている。</p>		
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日排便チェックを行い、必要に応じて服薬にて調節している。食物繊維が多い食べ物や、運動などを行い便秘予防に努めている。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週に2回と入浴日は決まっているが、本人の希望や汚染の場合は清拭やシャワー浴での対応を行っている。</p>		
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その人に合わせて日中も休息が取れるようにしている。良眠出来るように室内の温度や服装にも気を使っている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>全ての薬について理解しているとはいえないが、疑問に思う場合や薬の変更があった場合は処方箋で確認している。服用する場合は、名前を必ず本人にも確認している。</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとり役割を持つことでハリのある生活を送っていただけている。本人が好きなことを支援に取り入れ楽しい時間が送れるようしている。</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>介護度が上がり、十分な外出支援が出来ていない。しかし、個別支援を計画して行っている。家族の協力を得て一緒に行う場合もある。</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を使う機会が無く、施設と家族で管理している。所持することで安心される方もおり、その人に合った対応を行っている。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>年賀はがきや暑中見舞いを出すことで家族や馴染みの方との交流が持てている。家族の協力により、電話での支援も出来ており、安心に繋がっている。</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔を心がけ、使いやすいように配慮している。季節感を出すために壁の飾り付けなど工夫している。</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者一人ひとりに合う合わないを考慮し、席の配置を考えている。居室やソファにも自由に移動が出来、ゆったりと過ごせるようにしている。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が大切にしていたものを置き、安心した生活が送れるようにしている。好みに合わせて賑やかにしたり、本人が作った作品を飾っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・浴室・居室など分かりやすい表示をし、自立した生活が送れるようにしている。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない